

# 環境・食・文化の研究拠点を目指して

— 平成23年度三重大学伊賀研究拠点の活動報告 —

社会連携研究センター・産学連携コーディネーター

人 見 一 晴

## 1 はじめに

三重大学伊賀研究拠点は、伊賀市ならびに三重県等と連携して、「環境・食・文化」に関する調査、新技術・新商品開発研究を軸に新産業の育成を図るとともに、文化的啓発活動等を通して地域の活性化に取り組んでいる。

平成23年度は拠点創生3年間の活動を礎に「地域の特性を活かした循環型社会構築の高度化事業」として新たな取り組みを開始した。

その目的とするところは、伊賀地域循環型社会モデル（伊賀モデル）の構築であり、この1年間の活動について報告する。

報告「伊賀市菜の花プロジェクトの歩み」

伊賀研究拠点 社会連携特任教授 加藤 進  
インキュベーション入居者報告

「木質バイオマス燃料及び燃焼機器の開発」

アジアンリソース(株)顧問 高木 勝氏  
受託研究から

「獣害の実態調査及び獣害対策ワークショップの実施」

社会連携研究センター 伊賀研究拠点  
教授 山本 好男

S P P 成果発表

「きき水」および「家庭排水が自然界に与える影響～溶存酸素に注目して」

上野高校理数科1年 足立 はる菜 さん

渡邊 陽香 さん

近藤 亜咲 さん

なお、本セミナーは伊賀市の「第11回メディカルフォーラム in 伊賀」との合同開催とした。

## 2 セミナー・研究会・説明会

### ① 三重大学産学官連携セミナーin 伊賀

産学官連携の促進を図るとともに地域の活性化に資するためセミナーを開催した。

#### ○第1回（H23・7・22 於：サンピア伊賀）

講演①「三重の身近な薬草で健康を」

講師：岐阜薬科大学特命教授

田中 俊弘氏

講演②「忍者に学ぶ」

講師：伊賀流忍者博物館名誉館長

川上 仁一氏

#### ○第2回（H24・2・9 於：サンピア伊賀）

講演「災害時の医療と今後の対応～

災害時の高齢者医療～」

講師：三重大学医学部附属病院・

救命救急センター

准教授 武田 多一

### ② 環境健康学研究会

みえメディカル研究会の一研究会として、化学物質などの情報収集、健康への影響等について産学官民で研究活動を行うため開催した。

#### ○第5回（H23・8・5 於：ゆめテクノホール）

特別講演「大気環境行政の現状と今後の課題」

講師：環境省水・大気環境局大気環境課

課長 山本 光昭 氏

#### 報告「P R T R 情報について」

報告者：環境健康学研究会主査 山本 好男  
(社会連携研究センター・伊賀研究拠点 教授)

最後に福島原発事故以降最も問題になっている「放射線量の計測に関するV T R」を供覧した。(提供：首都大学東京 加藤 洋准教授)

#### ③ B D F セミナー (菜の花プロジェクト研究会)

伊賀市が推進する「菜の花プロジェクト」についての各種勉強会を実施した。

今回は「海外情報」を特集に組み、前伊賀研究拠点所長の江原 宏教授及びインドネシアから来日された2名の教授に熱帯植物(サゴヤシ)を使ったバイオマス戦略と利活用について解説をお願いした。

○第5回(H24. 3・9 於：ゆめテクノホール)

基調講演「熱帯植物(サゴヤシ)を利用した新しいバイオマス利活用戦略」

講師：三重大学大学院生物資源学研究科  
教授 江原 宏

海外情報①「インドネシアにおける作物生産の現状と糖およびでんぷんの分布」

講師：ボーゴール農科大学学科長補佐  
Dr. Ahmad Junaedi

海外情報②「スラウェシ島南東部におけるサゴヤシ生産・利用の現状と問題および戦略」

講師：ハルオレオ大学副学長  
Dr. Yurius B. Pasolon

報告①「伊賀市バイオマスタウン構想を実現するために」

報告者：(株)農楽代表取締役 西村俊昭氏

報告②「伊賀市バイオマスタウン構想への今後の提案」

報告者：三重大学伊賀研究拠点  
社会連携特任教授 加藤 進

#### ④ その他

- ・B D F サミット (H23・11・10-11)
- ・菜の花プロジェクト勉強会 (H24・2・1)

### 3 共同研究・受託研究等

地元企業等との間で、次のテーマで共同研究・受託研究を実施した。( )は担当教官

#### ○共同研究

- ・水浄化機械の有効性(加藤、上野、紀平、山本)
- ・有機農業に適した施肥設計方法に関する研究(山本、紀平、長井(人間環境大学))

- ・調理機会を通じた子供の育成(磯部)

#### ○受託研究

- ・獣害対策と「ジビエ」を活用した地域振興策の検討(山本、磯部、平島)

#### ○研究助成

- ・三重大学地域貢献活動支援助成「三重バイオマス・環境キャラバン」(加藤、大原、紀平、山本)

### 4 イベント出展・参加

伊賀研究拠点の研究成果等の周知および認知度を高めるため各種イベントに出展・参加した。

- ・わくわく！チャレンジタウン
- ・伊賀の産業展 2011
- ・松阪ベルファーム環境フェスタ
- ・伊賀ゆめフェスタ
- ・みえ産学官研究交流フォーラム 2011
- ・上野ガス展
- ・みえ環境フェスタ 2011
- ・K N S collaboration 伊賀 2011
- ・伊賀地域の農商工連携を考えるセミナー

## 5 連携・支援活動

伊賀市、三重県等が主催する各種セミナー・研究会の開催に協力した。

- ・伊賀市菜の花プロジェクト（伊賀市）
- ・獣害・獣害対策研究会  
（三重県、中部電力、三重大学）
- ・伊賀市文化フォーラム（全4回開催）  
（伊賀市、三重大学、皇学館大学）

また、未来を担う子供たちに科学技術への興味を深めてもらうため、伊賀市内等の小学校への出前講座（16校）、「ゆめテクノ伊賀こども大学」（2回開催）、上野高校理科実験授業（SPP）、児童・生徒による職場体験（2校）などを実施した。

さらに、企業等からの技術相談（59件）に対応するとともに、「ゆめテクノ伊賀」インキュベーション室の入居企業（5社）に対し技術支援を行った。

加えて、滋賀医科大学、立命館大学、鈴鹿工業高等専門学校との学・学連携にも取り組んだ。

## 6 国際交流活動

平成23年度国際大学交流セミナーを受け入れるとともに、JICA中南米研修を行った。

### ○国際大学交流セミナー・伊賀地区研修

伊賀地区研修では伊賀市が推進するバイオマスタウン構築のための知識と技術を学ぶとともに、滞在中はNPO法人島ヶ原おかみさんの会の協力によりホームステイ、地域住民との交流を体験してもらった。

実施日 平成23年8月24～27日

対象国 タイ国（タマサート大学等4大学）

参加者 学生9名 教員4名

内 容 講義、ワークショップ、企業見学  
テーマ 「エネルギーの地産地消～未利用資源の活用による循環型社会の構築～」

### ○JICA中南米研修

国際環境技術移転研究センター（ICETT）が実施する『JICA中南米地域「循環型社会形成促進のための廃棄物総合管理」研修』に協力した。

実施日 平成23年9月16日

対象者 チリ、コロンビア、グアテマラ、パラグアイ、ベネズエラの行政官8名

## 7 運営経費の確保

伊賀研究拠点の運営経費については、平成23年度から新たに文部科学省の「特別経費（プロジェクト分）⑥地域貢献機能の充実」に採択され、研究員等の人件費、研究活動費、セミナー開催経費等に充当した。

さらに、間接経費及び奨学寄付金（2件）による支援より運営経費の確保を図った。

## 8 おわりに

伊賀研究拠点創生期3年の事業が終わり、平成23年度から3年間新たに「地域の特性を活かした循環型社会構築の高度化—伊賀地域における三重大学伊賀研究拠点の新展開—」に取り組むことになった。研究テーマは①バイオマスタウン構想の実現、②バイオマテリアルの開発、③産業廃棄物処理の高度化、④森林・里山と伊賀文化の再生であり、これまでの活動をさらに発展させ、地域の課題解決と活性化に役立つことを願うところである。

なお、平成23年度の研究活動について現在報告書を取りまとめ中である。

\*活動内容は以下のHPをご覧ください

<http://www.iga.mie-u.ac.jp>

